

## 平成29年度恵那南高等学校魅力化プロジェクト推進協議会

日 時	平成29年5月17日(水) 9:30~11:30
場 所	恵那南高等学校 ガイダンスルーム
出席者 (敬称略、委員名は50音順)	<p>(委員)</p> <p>伊藤 勝彦 恵那市立明智中学校長  伊藤 理夏 静波木工事業主  大塩 康彦 恵那市副市長  大嶋 英哉 恵那市明智振興事務所長  大畑 雅幸 恵那市教育長  春日井 尚武 恵那市立明智小学校長  加藤 博史 恵南商工会理事  熊田 貴雅 恵那市明智振興事務所主査  小石川 浩永 (株)恵那川上屋取締役  鈴木 隆一 NPO法人「いわむら一斎塾」理事長  成瀬 孝文 恵那南高等学校PTA会長  橋本 平紀 恵那市議会議員  服部 晃 岐阜女子大学教授  丸山 朝夫 明知鉄道(株)取締役専務  水野 正敏 岐阜県議会議員  安田 昭夫 恵那特別支援学校長  山口 義樹 岐阜県恵那県事務所長  度会 敏彦 恵那南高等学校同窓会長</p> <p>(高校側)</p> <p>林 尚志 校長  安藤 和昭 教頭  柴 成吉 教務主任  小島 光示 総合学科主任  川阪 浩之 魅力化主任</p> <p>(県教育委員会)</p> <p>堀 貴雄 教育総務課教育主管</p>
議事概要	<p>1 6次産業教育等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6次産業教育を充実しているが、外へのアピールが必要。文部科学省の「高等学校を核とした地域活性化事業」に認可された。報告のため写真を残しておいてほしい。</li> <li>・ 恵那農業高校は農林水産省の事業でエゴマづくり、養蜂などをやることになっている。そこでできたものを恵那南高校が買い上げて流通販売をするコラボをしてはどうか。</li> <li>・ 恵那農業高校と恵那南高校との違いを出す工夫をしてほしい。</li> <li>・ 教員側から課題を設定し、取組を行っているが、それが生徒にとって魅力あるものになっているか、興味を持ってやれているかを検証してほしい。6次産業の草刈り、剪定などの活動は本当に魅力的なのか？</li> </ul>

- ・ 栗のいが、皮は草木染めに使える。これも商品化して販売してはどうか。
- ・ 生徒がどう感じているかが一番大事。生徒と一緒に商品開発をしたい。
- ・ 栗産業学科のようなものができたらよい。
- ・ 栗の甘露煮を食べる習慣・文化が地元にはないので、最初は販売に苦労したが、料理法を書いた冊子を付けて販売したところ好評だった。栗文化の背景など、生徒と一緒に考えながら商品化ができるとうい。

## 2 地域連携について

- ・ 明智町だけでは恵那南を支えられないので恵那市全域を巻き込んだ流れを作る必要がある。下田歌子賞授賞式に恵那南の生徒が海老茶袴を着てボランティアで協力してくれたが、女子の袴は下田歌子発案で全国に広まったものである。そうした地域のつながりをアピールしたい。
- ・ 明知鉄道は新車両にし、新看板も設置し、観光に力を入れている。最近明智、岩村には欧米人の観光客が増えている。高校生が大正村を案内してマスコミにPRしてはどうか。マスコミへの露出を増やしてほしい。
- ・ 県立学校のことを市で扱うのは難しいが、恵那市にある学校として市は協力してあらゆる手を尽くして応援するつもりである。明知鉄道定期代半額補助が始まったが、それに加え、浪漫学園の成果のアピールなどしていきたい。
- ・ 連休中、岩村では外国人が多かった。ゲストハウスと連携して高校生が案内するとよいのではないか。
- ・ ボランティアでいつも協力してもらい助かっているが、もう少し自信をもって元気にやってくれとさらによい。
- ・ 町づくりなどで助けられており、感謝している。
- ・ 恵那市自治条例の集まりで生徒会長・校長の発表があったが、そこで恵那南の教育を初めて知り、感心していた人が多かった。
- ・ 小・中学校はふるさと、高校は第二のふるさと。地域貢献をして地域とふれあうのはとてもよいこと。帰ってきたいと思える場所になるとよい。
- ・ 浪漫学園は子ども達が高校生とふれあうよい機会。近所のお兄さん、お姉さんとして定着しており、町で出会った時などに仲良く話をしている姿はとてもほほえましく、大きな魅力だ。そういう高校生の姿を見ている親たちは恵那南を勧めるので、よいPRになっている。

## 3 PR活動について

- ・ 卒業生の進学、就職実績はかなりよい。具体的な進学先、就職先のアピールをしてほしい。
- ・ 最大の広告塔は生徒自身である。目標がはっきりして楽しいと生徒が思えるように生徒の願いを拾ってほしい。
- ・ 学校説明会では上手な人にプレゼンをしてほしい。
- ・ 生徒の数は限られているが、地元の生徒が来たいと思える取組とPRをしてほしい。
- ・ 保護者に進学先、就職先をアピールしてほしい。進学後も地元で定住しているデータがあると親の安心感につながる。地元で就職して地元で暮らせる高校だとアピールしたい。
- ・ 小学生から「高校生になったら読み聞かせをやりたい」とか「吹奏楽部で演奏会やりたい」という声を聞き、憧れを感じているのが分かる。そういう姿をどんどん見せてほしい。

- ・ 家で会話が進路の話が多い。中学で方向が決まると高校も決まる。職場体験などの影響は大きい。
- ・ 体育祭に子ども園児を招待するなど、学校で何をやっているかが親や地域に伝わるようにしてほしい。

#### 4 その他

- ・ 授業を見ると生徒が自信を持っていない感じがする。自信を持てるよう応援したい。
- ・ 総合学科は教師主導ではなく、子どもが主体的に考えて選べる、子どもの学びの仕組みを変えるもの。総合学科のモデルを作してほしい。
- ・ 熱心に学校がやっていると感じている。
- ・ 新入生の中学別の人数が知りたい。
- ・ 卒業式で一人ずつ親しみを込めて卒業証書を渡してはどうか。
- ・ 授業は一方的指導になりがちなので、さらなる研究が必要である。
- ・ 明智商業時代より学校の活動は活発になっている。吹奏楽部・ギターマンドリン部の定期演奏会は素晴らしかった。来場者が少なかったのが残念なので協力したい。
- ・ たくさんの取組を熱心に行ってみるので敬意を表したい。できるだけの協力をしたい。
- ・ 郷土研究、郷土芸能などの科目を生かしつつ、町づくりを計画し、実践する地域貢献モデルを考え、地域人材育成の場となるようなコミュニティーデザイン科のようなものはできないか。
- ・ 卒業式に出たが、校歌はもっと大きな声で歌ってほしい。
- ・ 昨年度に中高で一緒に行った明智町のフォトスポットを探す学習は高校生にとっても中学生にとってもとてもよい学習、経験であった。
- ・ 1月の「産社・総合学習発表会」は非常に良かったので、今年度は2年生に見せたい。
- ・ 10周年記念式典、岩村高校90周年、明智商業70周年も兼ねており、長時間になるが協力していただきたい。
- ・ 生徒達に自己肯定感をもたせたい。生徒にとって何が楽しいかを考え、自発性を重視することが重要。生徒は日々の教育に応じてくれる。
- ・ イベントをしても点に見えてしまうことが多い。つながりを感じさせながら活動させることが重要である。